

令和 2 年度（2020 年度）事業報告

(令和元年 9 月 1 日～令和 2 年 8 月 31 日)

令和 2 年度事業は、当初の事業計画ならびに予算案に基づいて次のように行われた。

法人事業の報告

1. 会員数の報告

2020 年 8 月 31 日現在の会員数は次のとおりである。

会員数: () は 2019 年 8 月 31 日現在の数

会員種別	医・歯	理	農・工	薬	他	計
名譽会員－国内	31 (34)	14 (15)	6 (6)	13 (13)	1 (1)	65 (69)
名譽会員－国外				54 (62)		54 (62)
永年会員	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)
評議員	295 (303)	159 (165)	120 (126)	136 (132)	4 (4)	714 (730)
正会員	1,807 (1,882)	1,561 (1,707)	1,063 (1,175)	1,189 (1,257)	157 (167)	5,777 (6,188)
学生会員	119 (138)	228 (283)	184 (255)	176 (209)	1 (0)	708 (885)
小計	2,258 (2,363)	1,964 (2,172)	1,373 (1,562)	1,514 (1,611)	217 (234)	7,326 (7,942)
異動数	-105	-208	-189	-97	-17	(前年比 -616)
賛助会員					62 口 (68)	50 社 (50)
団体会員						138 団体 (142)
総計						7,514 (8,134)
						(前年比 -620)

2020.8.31 支部別会員数 () は 2019.8.31 の数

支部名	会員数(名)	%
北海道	198 (223)	2.6%
東北	524 (567)	7.0%
関東	2,949 (3,057)	39.2%
北陸	191 (233)	2.5%
中部	629 (732)	8.4%
近畿	1,457 (1,718)	19.4%
中国・四国	641 (764)	8.5%
九州	605 (694)	8.1%
国外他	320 (146)	4.3%
計	7,514 (8,134)	100.0%

2. 会議開催の報告

学会運営のために行われた主な会議の開催状況は以下のとおりである。

理事会 11 月, 4 月 2 回

常務理事会 1 月 1 回

第 57 回総会 日時：令和元年 11 月 29 日

開催場所は下記で行った。

11 月理事会・1 月常務理事会会場：

TKP ガーデンシティ御茶ノ水

4 月理事会会場：オンライン

3. 各支部会議開催の報告

北海道支部	1 回
東北支部	1 回
関東支部	1 回
中部支部	1 回
北陸支部	1 回
近畿支部	1 回
中国四国支部	1 回
九州支部	1 回

4. 委員会活動等の報告

・情報専門委員会

ホームページでは、求人情報・学術集会カレンダー・分科会/大会等からのお知らせなど会員へ有益な情報を常に新しい記事を掲載し、また「日本生化学

会チャンネル」のバナーでは、大会で行われた 2 題の
プレナリーレチャー動画を追加公開した。

・研究倫理委員会

日本医学会連合研究倫理委員会との連携を図り、意見書等を提出した。

・日本学術会議、日本学術振興会、日本医師会、日本医学会連合調査、各機関からの周知など連携および協力をした。

公益目的事業の報告

5. 出版 <公 1>

(1) 生化学誌出版

会誌発行状況は以下のとおりである。

※偶数月の隔月発行 (6回/年)

上段()内は第90巻 下段()内は前期発行

	総頁	記事数	総説	MR	TN	その他
第91巻 第1~6号	846 (858)	137 (153)	47 (50)	50 (60)	5 (2)	35 (41)
第91巻5号(10月) ~第92巻4号(8月)	868 (888)	140 (149)	51 (54)	45 (51)	4 (4)	40 (40)

支部企画による特集号は好評を博している。

編集企画協力委員には非会員の参画も要請し、幅広い企画の立案に努めている。

電子版の読みやすさは好評で、新刊では毎号フリーアクセスの記事を網羅し、6か月経過後はすべての記事をだれでも読めるようにしている。

(2) The Journal of Biochemistry (JB) 出版

欧文誌の発行状況は以下のとおりである。

上段()内はVol. 163, 164 下段()内は前期発行

	Pages	No. Paper	Reg. P	Commun.	Rev/ Minirev.	Ref. & Others
Vol. 165, 166 2019	722 (700)	115 (105)	86 (79)	1 (1)	21 (22)	7 (3)
Vol. 166-3~168-2 (Sep. 2019~ Aug. 2020)	1,169 (1019)	113 (113)	80 (80)	6 (1)	22 (23)	5 (9)

*2019 年の Impact Factor (2020 年発表) は 2.476 であった。

海外を含む一般にも広く投稿を呼びかけ、優秀な論文に与えられる「JB 論文賞」を設け、大会開催時にはその授賞式およびランチョンセミナーを開催し JB へ投稿、周知をはかった。

(3) 各月の発行状況は以下のとおりである。

	生化学	JB
個人会員	373	27
団体会員	141	50
賛助会員	57	53
書店等販売	98	187
贈呈	93	109
その他の	238	174
計	1000	600

6. 学術集会 <公 2>

(1) 第 92 回生化学会大会開催の報告

日時：令和元年 9 月 18 日～20 日

場所：パシフィコ横浜

会頭：新井 洋由

特別講演 0, シンポジウム 95

バイオインダストリーセミナー 6、

一般演題 1, 105、Late-breaking Abstracts 77

参加登録者数：3,213 名 (内 学生 968 名)

(2) 男女共同参画推進委員会活動報告

第 92 回大会時にランチョンワークショップ「日本の科学を考える - 新たな男女共同参画を求めて」を企画、開催した。

また、男女共同参画学協会連絡会では正式加盟学協会として定期的に運営委員会に出席している。

(3) 各支部の例会・シンポジウム開催の報告

各支部における学術活動は活発であり、全ての支部でシンポジウムを開催した。

北海道支部「支部例会」 (延期)

東北支部「支部例会」 (5 月 Web (誌上) 開催)

関東支部「支部例会」 (延期)

北陸支部「支部例会」 (5 月 Web (誌上) 開催)

中部支部「支部例会」 (5 月 Web (誌上) 開催)

近畿支部「支部例会」 (延期)

中国四国支部「支部例会」 (6 月 Web (誌上) 開催)

九州支部「支部例会」 (5 月 Web (誌上) 開催)

(4) 國際會議等への補助金拠出、共催開催の報告

・第 18 回バイオフロンティアシンポジウムとして以下の國際會議を予定した.

・「Wnt 会議 2020」

2020 年 9 月 22 日～25 日 開催都市：淡路市の予定であったが 2022 年に延期となった.

・FAOBMB 関連

2020 年 6 月に Colombo, SriLanka で FAOBMB Conference が開催予定であったが延期となった.

また、FAOBMB のプレジデントとして、本会代表理事が就任している.

・IUBMB 関連

Travel Fellowship などの活動支援をした.

7. 表彰・助成 <公 3>

(1) 表彰・奨励

2020 年度奨励賞、JB 論文賞、柿内三郎記念奨励研究賞および柿内三郎記念賞の募集をおこない、各種授賞等選考委員会による選考を行った。受賞者は以下のとおりである。

・日本生化学会奨励賞

柳田 圭介、松本 真司、蜷川 晓、森脇 健太
茶屋 太郎

・JB 論文賞（第 29 回）

永野克将 他 14 名、村嶋 明大 他 11 名、
西淵 剛平 他 8 名、Jan M. Klenk 他 6 名、
竹増 真也 他 6 名

・柿内三郎記念奨励研究賞（第 17 回）

宮本 哲也

・柿内三郎記念賞（第 15 回）

新井 洋由

生化学若い研究者の会への支援をおこなった。

・「第 60 回生命科学夏の学校」

・その他財団等へ学会推薦を行った。

(2) 助成

2021 年度「早石修記念海外留学助成」の募集を行った。ただし新型コロナウイルスの影響を考慮し応募締め切りを 10 月 22 日に延長した。

以下余白